

世界樹のあのね

X3
後編





しばらく
ですね

お加減は
いかがですか？

はっ

あえ…
うえ…

はえっへえ
おっくえっ

貴女は
こちらですよ

…だっ

誰っ!?

誰か他に
いるのですか
……っ!?

ふっふっ

新しい奴隷ですよ

これから
嫉けようと思いましたが
連れてきました

……ひ……

酷い……!

姉上……っ!

姉上っ

あれだけ
好き放題弄んで
私一人では
飽き足らないの
ですか……っ!

もう十分でしょうっ
開放してあげて
ください……!

我が身よりも
後輩の
心配ですか

いいですね
気高いです

ではまだ
いつものゲームを
してみますか？
勝負しましょう

私が絶頂するまでに
貴女が気をやらずに
耐えることが
出来たら

こちらの
奴隷は
開放
しましょう

どうです??

やってみますか?

あ……

う……

姉上……
そうだ

私は耐えられずに
無様に絶頂させられたが
姉上なら……

……う……

う……

無理……

堪えられる……
わけない……

です……

ぐわ、
ぐわ、

めちやくちやに
犯されて……
すぐにイカされちゃう……

おやおや
ずいぶんと弱気に
なつてしまいましたね

は……

それでは
こうしましょう





私が達するまでに
貴女が意識を失わずに
保っていられたら
ふたりとも開放して
あげましょう

私が射精したか
どうかは後輩に
しつかりと見ていて
もらえばいい

どうです？
これなら
できそうですし？



それに
受けようと
受けまいと
今から犯される
ことに変わりは
ないのですから

やらねば
損という
ものですよ



それでは
貴女を
不安そうな目で
見ている後輩に

姉上……っ

姉上……っ

はき……っ

抱負を聞かせて
あげなさい



わ……
わかり……ました……

やります……っ

それはよかった
がんばって
くださいね♡



あ……あの……
私……っ
がんばって……
耐えます……から

どうか安心して
見守っていて
ください……

一緒に
帰りましょうね……！



姉……

上……



あ……

あの……

どうしました？

しょう……勝……負
する……のでは……あつ

もちろん

もう始まつて
いますよ？



勝負はどちらが先に
果てるかですから……
このまま指で貴女を
失神させてしまつても
いいわけです

そ……そん……なつ



で……ご……め……す……よ……♡



お……願ひ

します……



情けが欲しいですか？
ならばどうすればいいの
か教えてあげましたよね

後輩も
います

お手本を見せて
あげなさい



おや

こちらはすでに
臨戦態勢
ですね



お情けを…くださいますか…
どうか…
わ…私の雌穴で…

あう…うう…
ズン…
カキッ

ご主人様のおちんちんを扱かせてください…



脚を自由にしてあげます



さあこちらにいらっしゃい



…失礼
します…



貴女の準備は万端のようですから私の方の準備をしなさい

は…はい…





上手になりましたね
……っ

いい具合です



いいですよ…

そのまま
ゆっくり…ゆっくり…
腰を落とすんです



このままでは
射精させられて
しまいそうです
貴女も策士ですね

……っ！



お互いに準備は
これくらいで
いいでしょう

さあ
自分で挿入してみなさい

はい…っ



おやおや
挿入だけで達しているでは
ありませんか
だらしない

条件を変えておいて
よかったですね

早々に達した貴女を見て
後輩が信じられないという
顔をしていますよ

うーっ
ごめ…なさいっ

ごめんなさいっ…っ

きつと…た…
耐え…ますから…っ

ふふふ
今日はこれでも
我慢してる
方なんですよ
でも後輩はそんなこと
知りませんしね

せつかくなので
自己紹介して
あげましょうか

貴女がここに来たのは
いつ頃でしたか？

あ……
ふた月……くらい
前です……

姉上の行方が
わからなくなった頃だ……
あの時から
すでに……！

一人で……迷宮に
いた所を捕まえられて……

毎日……
めちやめちやに犯されて……
性奴隷に……
されてしまいました……

そ……
それから……

最初の頃の
剣幕は
凄いものでしたね

ずいふんと口汚く
罵られたものです

でも毎日丹念に

失神するまで
犯してあげたら
このように
素直になつて
もらえました

うう……





この通りですけどね

は…はい…



それでも過去の奴隷に比べたらとても強情でなんと奴隷宣言をさせるのに五日もかかってしまったんですよ

それからは全身隈なく愛撫して開発してあげましたので



私の身体で……ご主人…様…の…舌と指の這っていない場所は…もうどこにもありません……

うんうん

うんうん



先程から私を射精させるためでなくご自分が気持ちよくなるために腰を振ってませんか？

そっ そんな…

こと…ない…です…っ

嘘はいけませんね

しばらくご無沙汰
でしたからここが
切なかつたのでしよう!?

どうですか?
久々に
啜え込んだ
肉棒の味は

きもち……ち……

です……

きもち……ち……
です……

はははは
素直でよろしい



姉上……

ウソツクたの
姉上……



あんなに
厳格だった
姉上が……

嘘でしよう……?



姉上

嘘……だ……
……こんな……

姉上

姉上……

姉上

ふふふ
ずっと達して
いませんか？

姉上

姉上

おっ！おっ！おっ！おっ！
おっ！おっ！おっ！おっ！

姉上っ

おっ！おっ！おっ！
おっ！おっ！おっ！

姉上……っ

貴女をすぐにでも
めちやくちやにして
しまいたい衝動を
ずっとこれを使って
抑えていたんですよ？

感謝しなくてはね

姉上っ

あね……

あ

あ

ね

うえ……

あっ！あっ！あっ！

え



あぁ...あぁ...

フィズ



貴女が無様に善がついているのを見て

ああ...ごめい

ごめ...ごめい

先輩は呆れ返っていますよ



フィズと世に...



それなら



お願いじますっ

どうかっ

どうかイッてぐださいっ
どうかああっ

はっはっ

どうか...っ
どうかあああああっ

おやおや
そんなに膣内に私の子種を
注いでほしいのですか？



お互いに

あ...

う

ん...あ

ん...あ

そろそろ
ラストスパートと
いきましようか

さあ

いきましよう

は...

ん...



そ...それっ

そ...はっあ

ん...あ

う

ん...あ

ん...

耐えてみせて
くださいね♡

う

あ



あ...そこ...
はっ

だめっだめっ

おなか...っ



そこはっ

ゆる...っ



いいですね！
いい締めです
やはり貴女はこうするのが
一番具合がいい♡

おなか...っ

おなか...っ



おなか...っ

おなか...っ



駄目ですよ
勝負なの
ですから

おなか...っ

おなか...っ

おなか...っ



おなか...っ

おなか...っ

おなか...っ



おなか...っ



おなか...っ



おなか...っ

おなか...っ

おなか...っ

おなか...っ

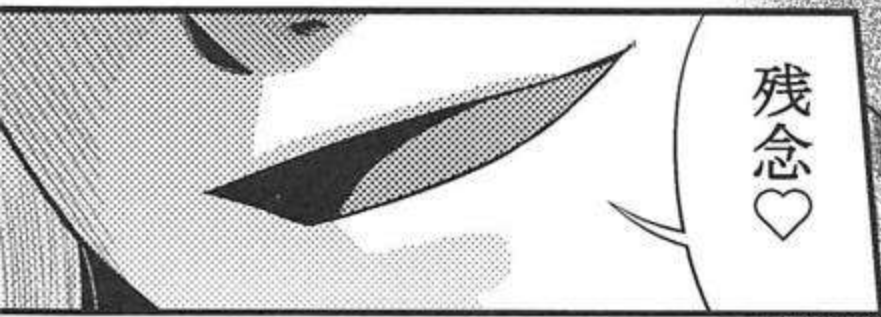
おなか...っ



おや♡



失神して
しまったようです
ね



残念♡

後輩を救うことは
できませんでしたね

これでも今日は
頑張っていた方
なんですけどね



いつまでも
呆けて余韻に
浸ってる場合では
ありませんよ

ほら



貴女が無様なせいで
帰れなく
なってしまった
後輩に

謝らなくてはね



う... びしょ

びしょ...

ごめん...
なさ.....





妹さんに痴態の一部始終を覗てもらえてよかったですね♡

締めが良くなりましたよ? やはり妹さんでしたか

つながっている所をもっとよく見てもらいましょう♡

やめろ

おやおや

やめてっつ
許してください
ご主人様
ああアアアっつ

おねがひ
おねがひ
おねがひ

私はまだ満足して
いないんですよ？
貴女が嫌なら
妹さんを使って
処理すること
になりますよ

終わりをたければ
しっかりと締めていなさい

いまさらどうしたと
いうのですか？

無様に絶頂を繰り返すのを
ずっと観られていたというのに



ほら
どうしたのですか
いつものように
もっと腰を振って
悦びなさい

おねがひ
おねがひ
おねがひ



無様な姿を
観られながら

達しなさい!!!



これではしばらく
目を覚ましませんね

ま
本日は
ゲストもいますし
休ませて
あげましょう



あー……

普段より遥かに
いい反応でした
よほど観られながら
されたのが良かったらしい

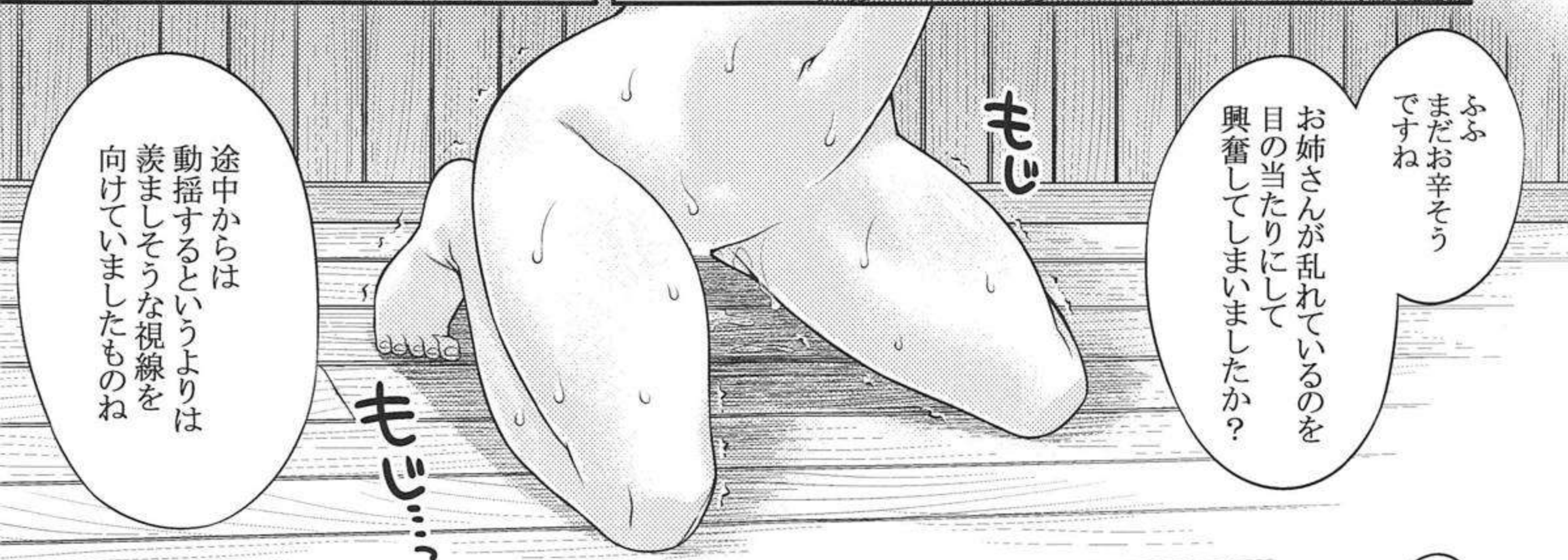
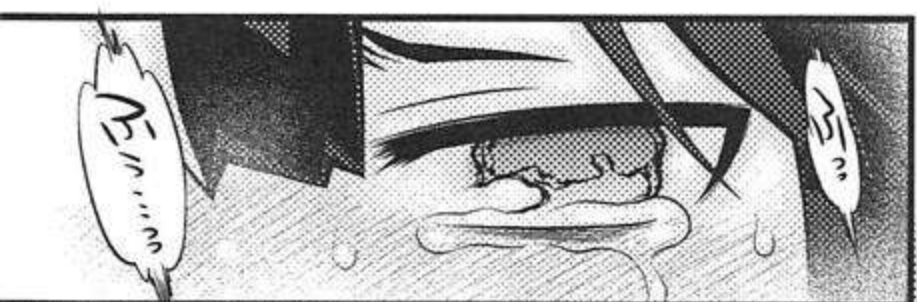


見ての通り
お探しのお姉さんは
私の可愛い奴隷です
ショックだったでしょうか



さて

お待たせして
しまいましたね





よ...よせ
なにをしようとして
している...

あんな...最低の男の
目の前で...っ こんな...



姉上を目前で
侮辱され...
穢され...
たの...に...

私...は...っ



な...なんで私は...っ こんなっ
この男に
観られている...
いる...のにつ
手が...
手が...
とめられない...
動かすの...
やめられない...っ

おや



こん...な...
恥辱を...受けて...



だめっ
こんなっ
...っ



手つきが少々
おぼつかないようですね

あまり自慰は
なさらないの
ですか？



や……やり方……なんて……
しらない……っ

おや
ビギナー
初心者
でしたか

どうりで
初心なわけだ

それでは
気持ちよく
なれませんか

少女
レクチャーして
さしあげます♡

貴女は……

ーと

ここの辺りを
擦られるのが
好きなんですよ♡
どうですか？
気持ち
いいでしょう？

ん……っ
どうして……っ

私……の
自分の身体……
なの……っ

この男の
指のほうが
気持ちいい……っ

こうして
一緒にクリトリスを
刺激するのがとても
効果的です♡

おや？
返事がありませんね
良くないようなら
やめてしましましょうか

き……ます……っ
き……ます……っ

そうですか
それはよかったです♡

き……ます……っ
き……ます……っ

あ
気持ちいい……

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ
気持ちいい

あ……っ
あ……っ
あ……っ

…と
こうやってするんですよ
わかりましたか？

…わかった？

わ、わかんない
わかんない
わかんない



それでは
あとご自分で
お楽しみください



あんな外道な…
最低の奴なのにつ
ずつと気持ちいい…
あの男にされてた
時の方が
なんでっ

なんでっ

なんでっ

私

なんでっ



足りないよ

足りないよお……

ずいぶんと物欲しそうな顔をされていきますね
ご自分の指では満足できませんか？

しかし私は手を出せませんしね
困りましたね

手が止まってしまっていますよ



同

どうしました？

は……

は……

は……



もつとも

貴女の方から欲しいとねだるなら相手しないでもないですよ？

あ……

うあ……

でも……

また昨日みたいにされたら死んじゃう……

死んじゃうよお……

なんだ

そんなことですか



簡単ですよ

あ……

そんな時はね
主人である私に
お願いを
するんですよ

くっ

どうか優しく
抱いてくださいと
甘い恍惚感を
味わわせてくださいと
おねだりするんです

精一杯
甘い声を出して
媚びなさい

お姉さんの
ようにね

可愛い奴隷が
一生懸命お願いするなら
その気になるかも
しれませんよ
私は優しいですからね

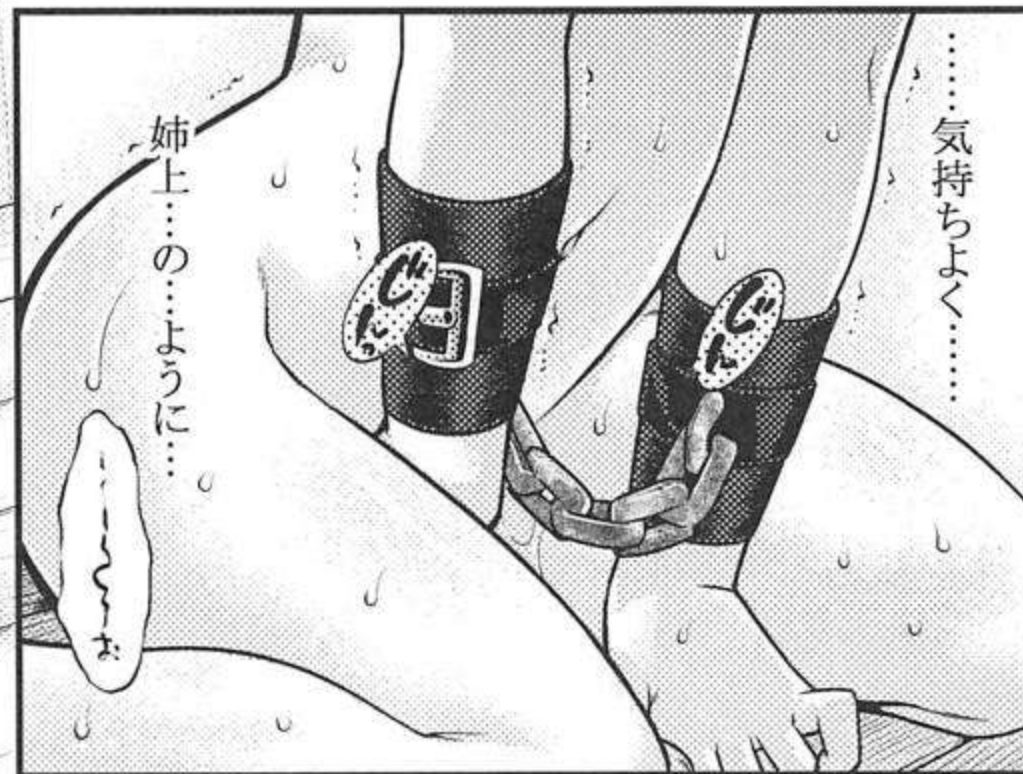


お願い……こんな
こんな悪魔のような男に……

お願いなんて……

お願い……すれば……

どう……か……どうかっ
やっ やさし……く
抱いて……ください……
可愛がってください……っ



……気持ちよく……

姉上……の……ように……



おねが……します……

333

素直に
なりましたね
良いことですよ

可愛い奴隷の
懇願です
聞いてあげましょう

さあ

欲しいところが
よく見えるように
自分で広げて
おねだりしてごらん



お願いします...

...

...

よろしく

...

力を
抜きなさい

さあ

いきますよ



んんん

んんん

んんん



また挿入だけで
達したのですか？
堪え性のない
方ですね

あ
あ
あ

んんん

んんん
んんん
んんん

んんん

んんん

んんん





震えていますね
キスで達しましたか？

は……

はひ……

すっかり雌の表情に
なっていますよ

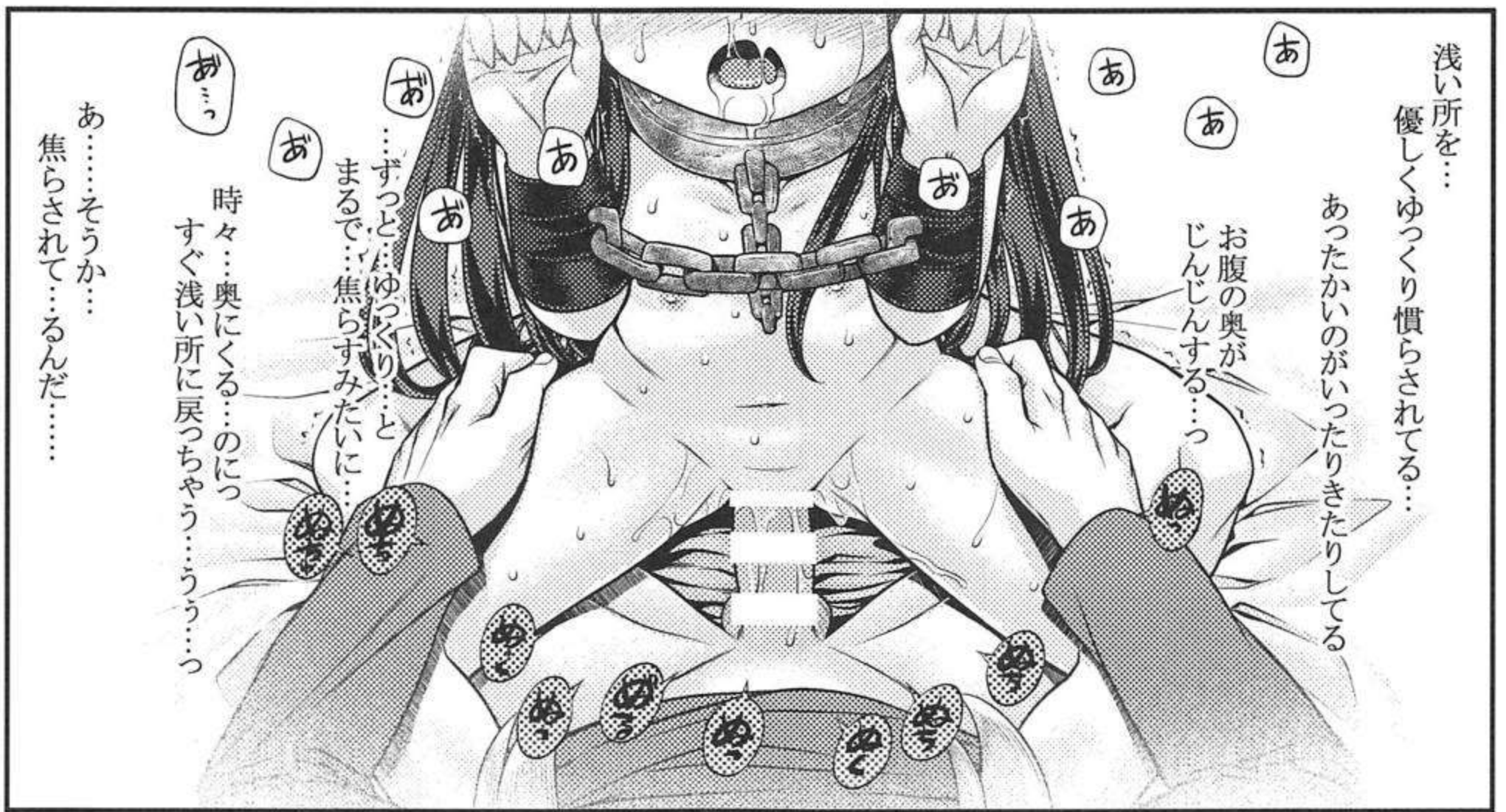
雌が髪を
上げている必要は
もうありませんね

下ろして
しましましょう
よろしいですね？

は……

はい……

0







この人の奴隷にならちやつてたんだ……

私の身体はもう……
とつくの昔にこの人に
傳いちゃつてたんだ……

ああ……そうか

私……

ずっと耐えてた
つもりだったけど……

またイク♡

あ♡

あ——

お待ちせしましたね
さあ……行きますよ！

イク♡

イク♡



イク♡



姉も……

とても良かった
ですよ♡

イク♡

イク♡

きっと……うだったんだらうな……



お姉さんよりも
飲み込みが早い
才能ありますよ

とてもいい具合です

そろそろ
出します
受け止めなさい

その調子です

その調子です



凄いのが……

こんなのを
何度も中に
注がれちゃってたんだ……

ちゃんと中に
残っている分も
吸い出せましたね
偉いですよ♡



外に出た分も
全て
舐め取りなさい

舐め終わったら
また湧けるような快感を
味わわせてあげます

は……はい……♡

ひゅん

あ……

おや

お姉さんが
気がついた
ようですよ

挨拶して
あげなさい

はいっ

姉上っつ
みてくださーいっ

はっ

はっ

私…もっ
姉上と同じ
ご主人様の性奴隷に
してもらいまひたあっ♡

姉上と一緒にすっ♡

姉上が逆らえないのにつ
ずつと我慢してたなんて
わたひが馬鹿でしたっ

んっ

んっ

姉上よりも

夜伽の才能があるって
褒められましたっ♡
初めて姉上より凄いつて
いわれまひたあ♡

ゆき

ゆき

あ

あ

姉上と
一緒になれて
幸せですっ♡

ゆき

ふふふ
どうですか

無様に善がる
貴女を目の当たりにして
タガが外れて
しまったようです

耐えに耐えていた分
ひとたび折れてからの
急落っぷりも
何倍も凄かった
ですけどね♡

今のこの有様を見たら
信じられないでしょうが
妹さんは貴女の
何倍も責めに耐えて
らっしゃったんですよ

貴女がもっと早く
気がついていれば
ここまで壊れていなかった
かもしれませぬ残念です

んっ

んっ

んっ

んっ

あ

あ

あ

あ

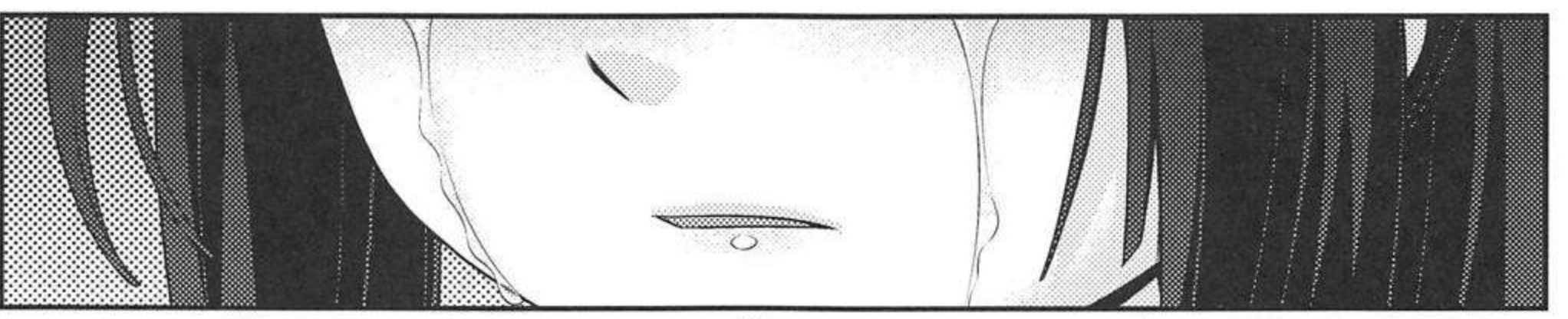


さあ

いつまでも
寝そべっていないで
こちらに来なさい



妹さんを
愛撫してあげなさい
一緒に可愛がって
あげましょう



……はい……

あとがき

しめきりです！ やばいです！
ネタ絵とか用意したかったけどそんな余裕もないので
終盤描き直したため作中に出なかったエロ下着姉上をおいておきます！
あとなんか話終わってない気がするので余裕があればさらに続きを描くかもしれません
余裕がなければ忘れてください！
それでは会場に本が届いていると信じて！

- 誌名 : 世界樹のあのねX3 後編
- 発行 : かぜうま
- 発行者 : 南☆
- 発行日 : 2019年4月29日
- 連絡 : isogai@big.or.jp
- 印刷 : サングループ

※未成年者の所持閲覧を固く禁じます
※無断転載・複製、ネット上へのアップロードを禁じます



FOR ADULT ONLY
2019 Spring. KAZEUMA MINAMI☆STAR
SEKAIJUNOANONE X3 Sequel
ANONENO SERIES:VOL068

